

2020年7月27日

株式会社日立システムズ

## 介護施設や医療施設向け「福祉の森 見守りシステム」を機能強化

ナースコールシステムとの連携、IoTセンサーの拡充などにより  
現場スタッフの業務負担軽減や入居者に応じた質の高い介護サービスの提供を支援

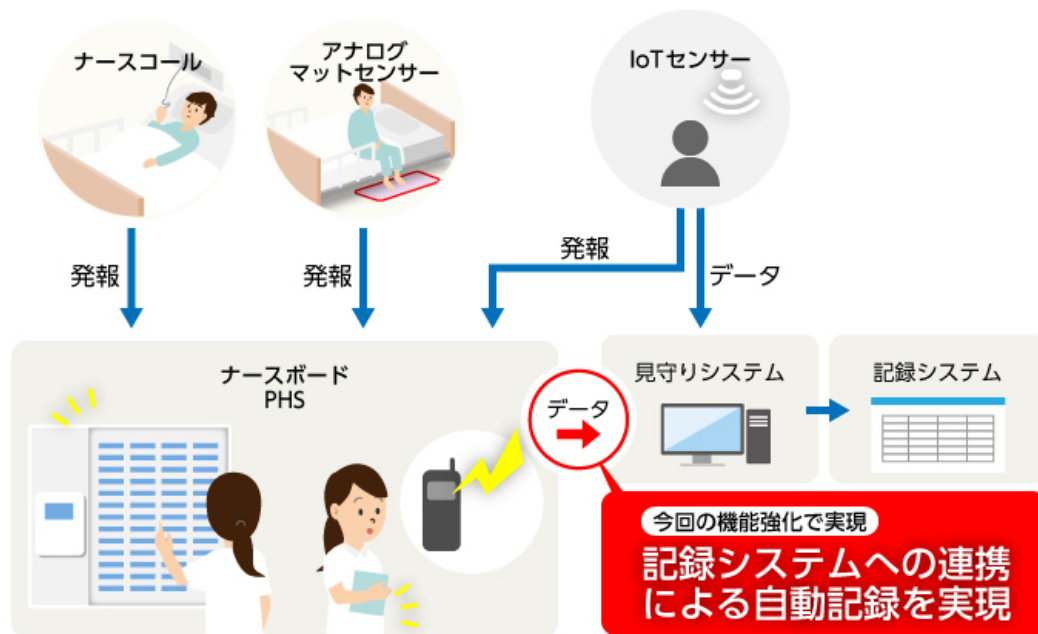
### 概要

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:柴原 節男、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、介護施設や医療施設向けに、IoT技術を活用して入居者の安全確保と現場スタッフの働き方改革を支援する「福祉の森 見守りシステム」を機能強化し、本日から提供開始します。

具体的には、「福祉の森 見守りシステム」と医療・介護現場で重要な役割を担うナースコールシステムを連携し、「福祉の森 介護記録システム」へ自動記録することで、ナースコールから発報された呼び出し履歴の記録漏れのリスクを防ぐことが可能になります。さらに、これまでアラート発報までにとどまっていた従来のアナログマットセンサーからの情報も、同様に対応可能です。

また、介護現場での多用なニーズに柔軟に応えるために、新たなIoTセンサー(離床センサー、環境センサー等)をラインアップに追加しました。

これにより、現場スタッフの記録業務などの負担を軽減し、入居者の住環境のさらなる改善や、よりタイムリーかつ安全な入居者のケアを通じ、これまで以上に入居者に応じた質の高い介護サービスの提供を支援します。



機能強化した「福祉の森 見守りシステム」のナースコールシステムとの連携イメージ図

## 背景

少子高齢化が進む昨今、日本の総人口のうち65歳以上の高齢者が占める割合は28.4%<sup>(\*)</sup>と過去最高となり、介護が必要な高齢者の数も増加傾向にあります。このような状況を改善すべく、政府は2013年度に「介護ロボットの実用化を促す環境の整備」を開始し、さまざまな補助制度を創設するなど、介護ロボットなどの普及・促進に取り組んでいます。

日立システムズでは、介護施設や医療施設向けに、IoT技術を活用して入居者の安全確保と現場スタッフの働き方改革を支援する「福祉の森 見守りシステム」を昨年4月から販売開始しています。販売開始後、さまざまな介護施設や医療施設に対して本システムを提案していく中で、ナースコール対応について、入居者から呼び出された実績やその対応内容まで漏れなく記録したいというニーズが高いことが分かりました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療・介護現場では接触機会の削減、二次感染のリスク排除を求められており、IoTを活用した入居者のケアに対するニーズも高まっています。

(\*) 令和元年10月1日 総務省統計局「人口推計」より引用

## 詳細

こうした背景を踏まえ、日立システムズは「福祉の森 見守りシステム」の機能強化として、ナースコールシステムとの連携、新たなIoTセンサーの追加を実施しました。

「福祉の森 見守りシステム」は、赤外線センサーから得られる入居者の体動情報(離床、転倒等)やマットセンサーから得られる入居者の生体情報(脈拍、呼吸)など、さまざまな情報をセンサーから取得し、スタッフルームに備え付けのPCやタブレット端末上でリアルタイムに表示するシステムです。また、センサーから得られた情報と所定の医療機器にて測定した体温や血圧等のバイタル情報を合わせて、日立システムズが提供する「福祉の森 介護記録システム」に自動的に取り込むことも可能です。

これまで、医療・介護現場でのナースコールを起点とした対応内容の記録は、多くの現場スタッフが手書きメモなどで記録しておき、システムに入力していました。今回、「福祉の森 見守りシステム」をナースコールシステムと連携させたことにより、入居者が居室などでナースコールを押した呼び出し履歴が、「福祉の森 見守りシステム」を経由して、「福祉の森 介護記録システム」に自動記録されるようになります。これにより、現場スタッフは既に記録されたナースコールの呼び出し履歴に、対応内容を追加で登録するだけで完結するため、ナースコールの呼び出しや対応内容の記録漏れを防ぐとともに、システムへの記録業務などの負担を軽減します。

また、IoT技術が普及する前にアナログマットセンサーを導入した介護施設や医療施設では、アナログマットセンサーからナースコールシステムを経由してアラートを発報できるものの、記録システムへの連携による自動記録は実現できていませんでした。今回のナースコールシステムとの連携強化により、新たにIoTセンサーを導入せずに入居者の離床情報などを「福祉の森 介護記録システム」に取り込むことが可能になります。これにより、介護施設や医療施設は導入コストを抑えて現場スタッフの働き方改革を推進することができます。

さらに、今回の機能強化において、「福祉の森 見守りシステム」で取り扱う IoT センサーにサーモパイルを活用した離床センサーや、環境センサー等を追加しました。

サーモパイル離床センサーは、ベッドに設置したセンサーにより、離れた位置から人間の体温を測定する技術を応用することで入居者の位置や距離を割り出し、取得した体動情報(起き上がり等)をスタッフルームに備え付けの PC やタブレット端末上に通知します。環境センサーは温度・湿度・照度といった室内環境を常時モニタリングするセンサーで、身体が不自由な入居者への適切な支援や住環境改善に寄与します。

日立システムズが取り扱うセンサーは医療・介護現場において必要とされる各種センサーをラインアップしており、複数のセンサー情報を「福祉の森 見守りシステム」に集約することによって、入居者や居室の状態を迅速かつ視覚的に把握でき、タイムリーかつ安全に入居者のケアを行えるようになります。また、複数のセンサーを利用し、入居者の状況を常に把握することで、接触機会の削減にもつながり、新型コロナウイルスの二次感染を予防します。

今後、日立システムズは、介護施設や医療施設向けに「福祉の森 見守りシステム」や「福祉の森 介護記録システム」などの生産性向上を支援する製品・サービスを積極的に拡販し、2021 年度末までに累計 15 億円の売上をめざします。

#### ■日立システムズが取り扱うセンサー一覧(★が今回追加したセンサー)

センサー名称	センサー種別	製造メーカー	センサー概要
AIViewlife	赤外線センサー	エイ アイ ビューライフ株式会社	広角の赤外線センサーにより、従来のセンサーでは不可能であった居室の全エリアを対象とした危険予兆動作と危険動作を検知可能です。また、AIを活用した検知アルゴリズムが搭載されているため、徘徊・排泄等の予測通知を受けることができます。
★Neos+care	赤外線センサー	ノーリツプレジジョン株式会社	ベッド上およびベッドサイドでの入居者の動き(離床、転倒等)を検知可能です。また、プライバシーを意識したシルエット画像での運用が可能です。
aams	マットセンサー	株式会社バイオシルバー	電気・磁気不使用で入居者を安心・安全に見守り、脈拍や呼吸、体動の状態を検知します。
眠りSCAN	マットセンサー	パラマウントベッド株式会社	体動(寝返り)や呼吸、心拍等を測定し、睡眠状態を把握します。
★eMamo	環境センサー	株式会社リンクジャパン	温度・湿度・照度といった環境状況を測定します。他に連携可能な製品として、eRemotePro(エアコン等の既存家電操作)、ドアの開閉センサー等があります。
★ナーシングガード	離床センサー	グローバル電子株式会社	離れた位置から人間の体温を測定する技術を応用して、入居者の位置や距離を割り出し、起き上がり、ベッドサイドでの転倒等を検知できます。
居室用人感センサー	マイクロ波センサー	株式会社光波	マイクロ波を利用し、脈拍や呼吸、体動の状態を検知します。

※取り扱うセンサーは、今後ラインアップを順次拡充していく予定です。

## ■「福祉の森 見守りシステム」概要

赤外線センサーやマット型の生体センサーなどを活用し、さまざまなセンサーから複数の入居者の寝返りなどの体動情報をはじめ、脈拍、呼吸等に関する生体情報を取得し、スタッフルームに備え付けられたPCやタブレット、スマートフォンの端末上でリアルタイムに表示するシステムです。また、センサーから得られた情報と所定の医療機器にて測定した体温や血圧等のバイタル情報を合わせて、日立システムズが提供する「福祉の森 介護記録システム」に自動的に取り込むことができるため、介護記録の入力時間や各種申し送り時間を短縮することができます。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/sp/mimamori/> をご覧ください。

## ■日立システムズネットワークスとの連携について

日立システムズのグループ会社である株式会社日立システムズネットワークスでは、ナースコールシステムをはじめとした、今回の「福祉の森 見守りシステム」などと連携可能な医療・福祉施設向け商品・ソリューションを多数ラインアップしています。

詳細は [https://www.hitachi-systems-ns.co.jp/catalog/pdf/medical\\_welfare.pdf](https://www.hitachi-systems-ns.co.jp/catalog/pdf/medical_welfare.pdf) をご覧ください。

## ■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約300か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みのITサービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタルライゼーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

## ■お客さまからのお問い合わせ先

株式会社日立システムズ お問い合わせWebフォーム

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

以上

\*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。